

平成27年度調査研究成果の報告会 挨拶

平成28年8月3日

幌延深地層研究センター所長 山口 義文

本日はお忙しい中、幌延深地層研究計画 平成27年度調査研究成果の報告会に足をお運びいただき、ありがとうございます。

センター所長を務めております山口と申します。

平成27年度は、独立行政法人の制度改革を受けて、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構として、新たな一步を踏み出した年であるとともに、7年間の中長期計画に基づいて事業を進めていく初年度でありました。

幌延深地層研究センターについては、その中長期計画に基づいて策定した、平成27年度調査研究計画を安全第一に進め、着実に成果をあげることが出来ました。これも、幌延町を中心とする地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝しています。

この成果についての報告書が完成しましたので、本日、その概要を報告させていただきます。

今後も調査研究を継続し成果を積み重ねてまいりたいと考えておりますが、研究を進めるに際して幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら公明正大に、かつ最大限の成果が得られるように進めていければと考えています。

それでは、平成27年度の調査研究成果を報告させていただきますので、ご意見等いただければ幸いと存じます。

今後とも、安全を第一に情報公開を徹底させながら、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願います。